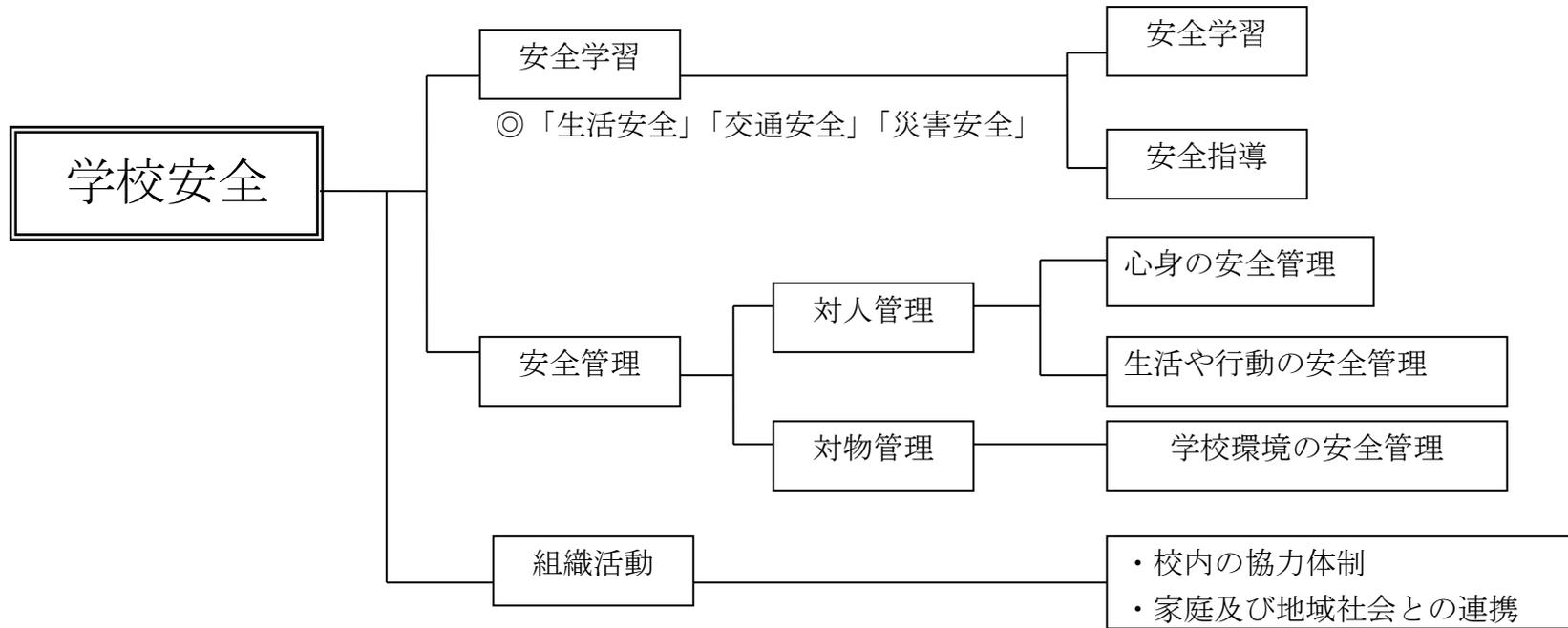


# 危機管理マニュアル

## ◎学校安全教育の全体構想

1. 傷病の緊急対応・救急車、消防車の要請
2. 不審者対応・留意事項、警察官の要請、学校 110 番
3. 交通事故対応
4. 大地震発生対応
5. 火災発生対応
6. 台風等風水害対応
7. 服務事故等対応
8. 緊急時関連者諸機関連絡先
9. アレルギー発症時の校内体制

# 【学校安全教育の全体構想】



## 〈安全教育のねらい〉

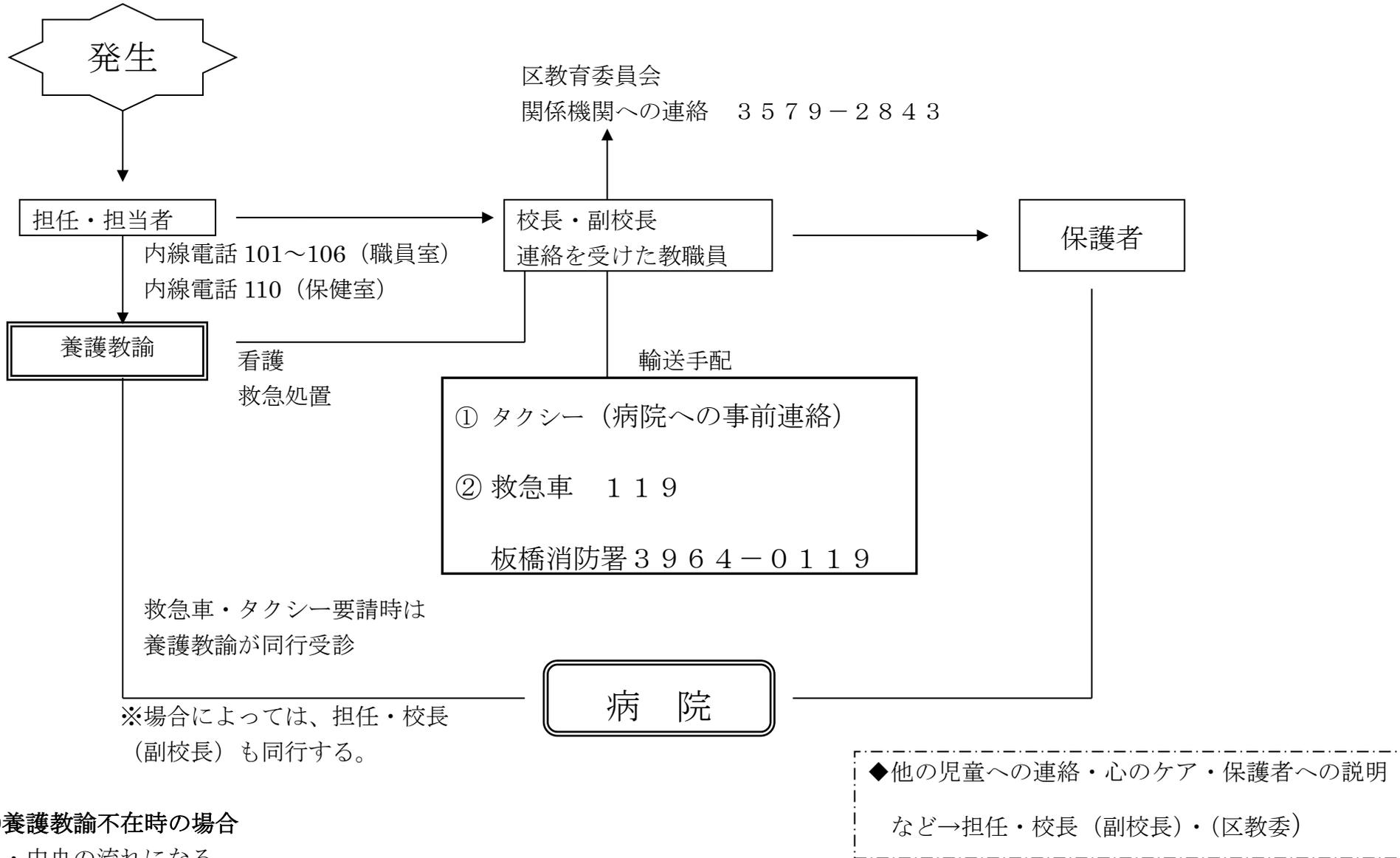
- ◎安全に関する基礎的・基本的事項を系統的に理解し、思考力・判断力を高めることによって安全についての適切な意志決定ができるようにすること。
- ◎「安全教育」は、すべての教育活動を通して行うが、主に学級指導の時間を当てる。
- ◎「安全管理」は教職員が行い、児童自身や児童を取り巻く人々が安心感をもって日々の生活ができるようにすること。

## 〈安全教育の計画〉

- ◆「安全教育の年間指導計画」、「安全教育の職員の年間研修計画」：別紙

# 【傷病の緊急対応】

## ◎養護教諭在校の場合



## ◎養護教諭不在時の場合

・中央の流れになる。

# 【不審者対応】

## ★不審者発見

☆児童が発見した場合、近くの教職員へ知らせる。

分担
<ul style="list-style-type: none"> <li>○本部・統括：校長</li> <li>○不審者の包囲：副校長・男性職員 (校庭・特別教室・体育館に児童がいるときは、 児童優先)</li> <li>○児童の安全管理：女性職員</li> <li>○学校 110 番：副校長、職員室にいる教職員、事務職員</li> <li>○緊急放送：副校長、職員室にいる教職員、事務職員</li> <li>○放送が使えない場合の連絡：主事</li> <li>○記録：事務職員</li> </ul>

教職員の基本行動
<ul style="list-style-type: none"> <li>①受付専任員がブザーで職員室に知らせる。 発見者が笛、大声、火災報知器などで周囲に知らせる。</li> <li>②男性職員が駆けつける。 (さすまた：主事室、職員室、事務室、保健室、6年教室) ・児童を遠ざける。・相手との距離を一定に保つ。・警察が来るまで、時間を稼ぐ。</li> <li>※校長を始め対応にあたった職員は、児童に危害が及ばないように不審者への説得と隔離と監視・確保にあたる。</li> <li>③学校 110 番をする。場合によっては救急車要請も行う。 *携帯電話から 110 番通報をしてもよい。</li> <li>④全校に放送をし、全体に知らせる。 「八大先生、八大先生、至急〇〇にお越しください。」</li> <li>⑤<b>児童の安全を確保する。</b> ・男性職員は、現場に駆けつける。 ※男性担任が 2 人同じ階の場合は、どちらか片方が応援に行く。 その際、もう片方は 2 クラス分児童管理をする。 ※ 1 階の教室には必ず担任がつくようにする。</li> <li>⑥終結の放送をする。体育館に集合する。</li> <li>⑦記録をとる。(事務職員) 時間を追って、事実を記録する。</li> </ul>

安全確保のための基本行動
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出入りに鍵を閉める。</li> <li>・机等でバリケードを作る。</li> <li>・教室の中央に集まる。</li> </ul> </li> <li>○校庭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者から遠いところへ集める。</li> </ul> </li> <li>○体育館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入口を閉める。</li> </ul> </li> <li>★放送があるまで勝手に行動させない。</li> </ul>
事後
<ul style="list-style-type: none"> <li>①終結の確認と指示：校長</li> <li>②終結の放送と人員確認の指示：副校長</li> <li>③人員確認と報告：担任・専科</li> <li>④教育委員会への報告：校長</li> <li>⑤学校 110 番の復旧：副校長</li> <li>⑥保護者への連絡：生活指導主任</li> <li>⑦警察への説明：副校長</li> <li>⑧マスク対応：管理職</li> <li>⑨学校再開計画：主幹</li> </ul>

〈警戒レベル 1〉
○用がないのに敷地内に侵入
<ul style="list-style-type: none"> <li>・退出要求をする。</li> </ul> <p>《事後の対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋警察に通報。パトロールを依頼するなどの処置。</li> <li>・集団下校</li> <li>・学区内パトロール</li> <li>・近隣施設へ連絡</li> </ul>

〈警戒レベル 2〉
○制止を聞かず、暴言乱暴の恐れ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動⑦まで</li> </ul> <p>《事後の対応 ⑥までに》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き取り（保護者全員に連絡）</li> <li>・学区内パトロール</li> <li>・近隣施設へ連絡</li> </ul>

〈警戒レベル 3〉
○凶器や暴力で負傷者が発生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動⑦まで</li> <li>・養護教諭は負傷者の応急処置 *救急車要請</li> <li>・事務、栄養士は搬送準備</li> <li>・主事は搬送準備と、校長へ報告</li> <li>・生活指導主任が負傷者リストを作成する。</li> </ul> <p>《事後の対応 ⑨まで》</p>

# 【救急・消防車の呼び方】

119へ直接

〈救急車〉

救急ですか？消防ですか？

けが・病気です

救急車をお願いします

〈消防車〉

救急ですか？消防ですか？

火事です

消防車をお願いします

住所は？

板橋区双葉町42-1 板橋区立板橋第八小学校です。

あなたの名前は？

〇〇 〇〇です（自分の名前を言う）

傷病者の人数・氏名・性別・年齢  
事故発生後の状況などを伝える。

- ・何年生の男女
- ・どういう原因で、どうした
- ・意識はあるのか

出火場所と様子を簡単に伝える。

- ・出火場所はどこか（何階校舎）
- ・けが人はいるか
- ・逃げ遅れがいるか

電話番号は？

3963-4181です

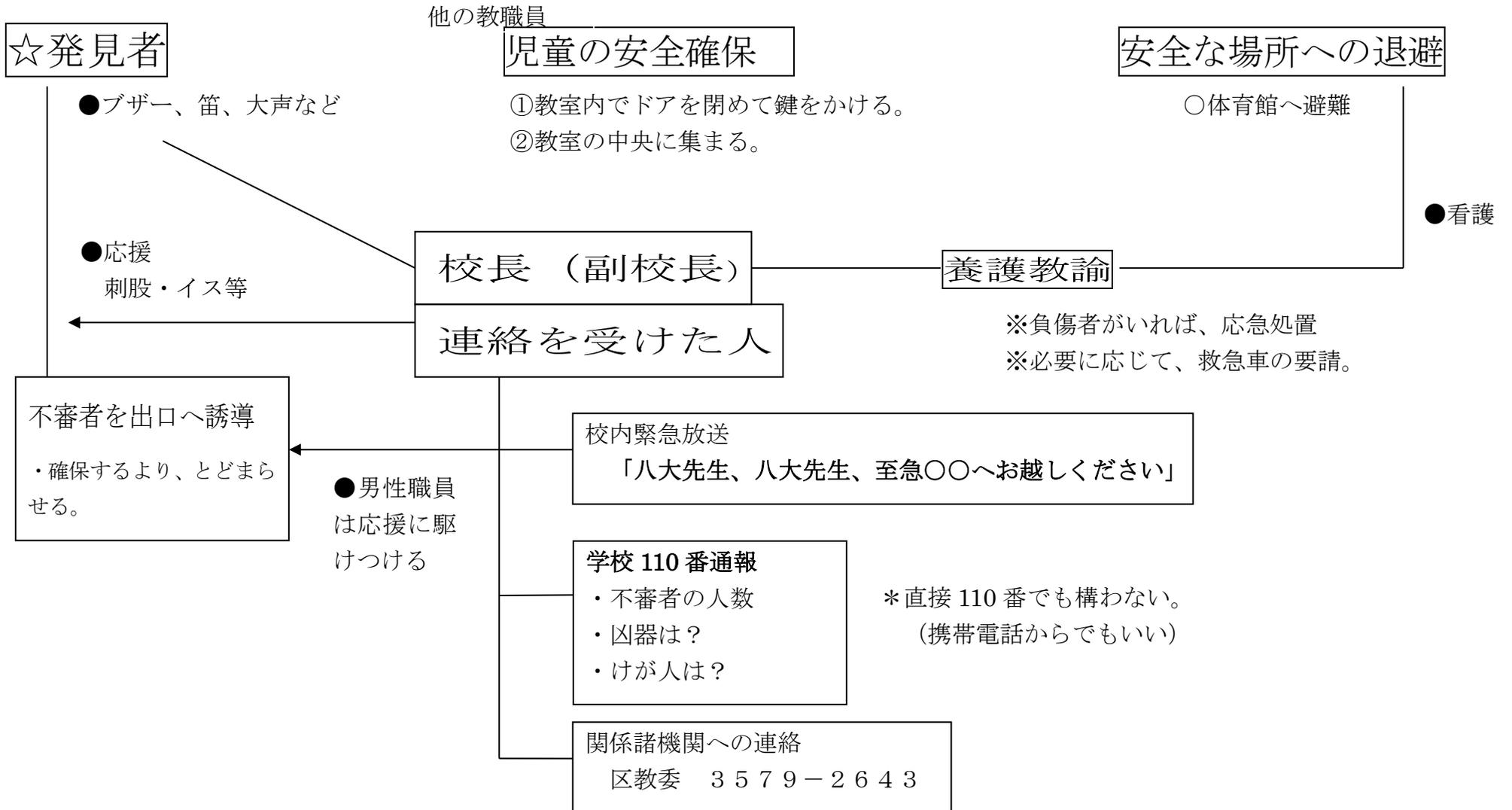
学校の目印は？

国道17号線 大和町交差点より環状七号線を高円寺方面へ400m右側です。

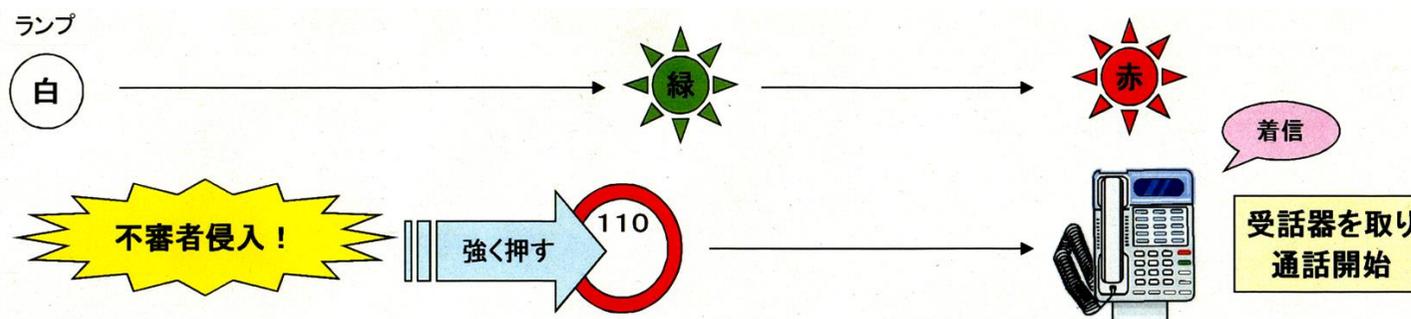
〈サイレンを消して学校に入ってきてください。〉

※救急車到着までの観察事項、処理事項を記録し、救急隊員に引き継ぐ。

# 【不審者発見時の緊急対応】



# 【学校 110 番の操作・通話手順について】



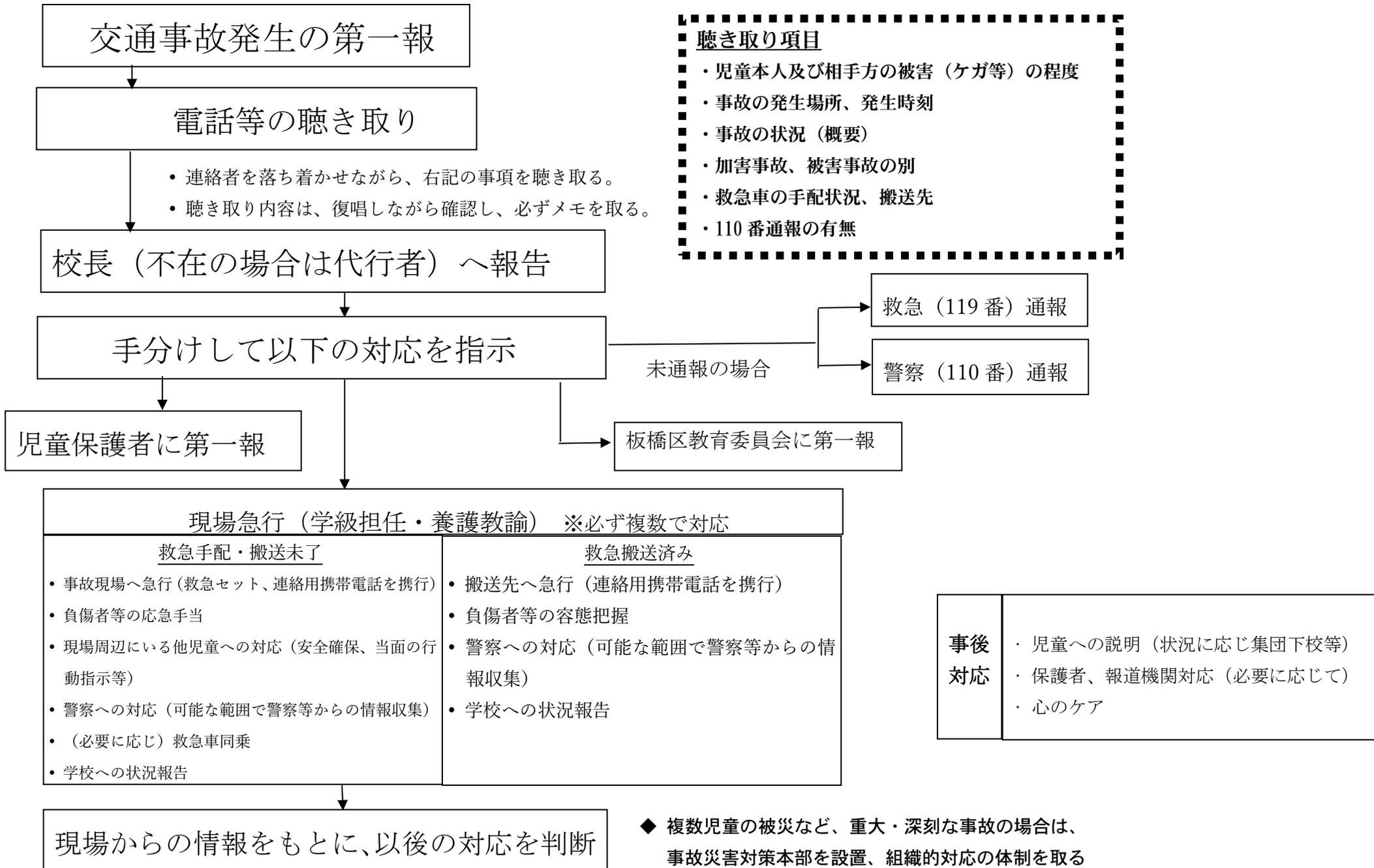
## ※ 通話時の要点 (例)

- 学校** 訓練です、訓練です
- 警察** どちらですか？
- 警察** 担当とお名前を教えてください
- 警察** どうしましたか？
- 警察** どのような状況ですか？
- 警察** 現在どこで、誰が対応していますか？
- 警察** 不審者の人数は？
- 警察** 性別は？
- 警察** だいたいの年齢は？
- 警察** 身長は？
- 警察** 服装は？
- 警察** 凶器などの所持は？
- 警察** 長さは？
- 警察** 児童と職員の方はどちらに避難していますか
- 警察** 現場に急行します。安全に待機しててください

- 学校** 板橋第八小学校です
- 学校** 副校長の〇〇です
- 学校** 校舎内に不審者が侵入しました
- 学校** 校長宛の来校者を装って入ってきました
- 学校** 校長室で、校長が対応中です
- 学校** 1人です
- 学校** 男性です
- 学校** 30歳前後です
- 学校** 170cm位です
- 学校** 黒のジャージ上下です
- 学校** こん棒のようなものです
- 学校** 30cm前後です
- 学校** 3F体育館に誘導中です
- 学校** よろしくお願ひします

\*概ね2分程度のやりとりです。その間の新しい動き (声のトーンの変化・危険な挙動・ケガ人発生)の有無について確認がありました。

# 【交通事故発生時の緊急対応】



## 地震・災害時の対応について

### 1. 緊急地震速報の対応

<b>緊急地震速報</b>	「上から落ちてこない」「横から倒れない」場所に身を寄せる。
<b>落下物・倒壊物から身を守る</b>	激しい揺れは1分程度であるが、2分を超えることもあるので、落ち着いて揺れがおさまるまで待つ。
<b>周囲の様子を的確に把握する</b>	激しい揺れがおさまったら、慌てず騒がず、その場が危険でないか判断する。
<b>安否の確認の場所に集合する</b>	揺れがおさまった後は、安全を確認しながら指示のあった場所に集合し、安否確認をする。

### 2. 教職員が近くにいる場合の行動

	落下物・倒壊物から身を守る	周囲の様子を的確に把握する	安否の確認をする
校舎内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・揺れのある間は校舎外に飛び出さない。</li> <li>・窓際から速やかに離れる。</li> <li>・頭部保護のため机の下、など「上から落ちてこない」「横から倒れない」場所に身を寄せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の指示に従う。(教職員は、出入口のドアをすばやく開ける。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室または校庭等、安全な場所に集合する。</li> </ul>
校舎外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎内に入らない。</li> <li>・校舎、体育館、倉庫、遊具等から離れる。</li> <li>・「横から倒れない」場所に避難する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の指示に従う。</li> <li>・地割れ、倒壊物、落下物等がないか周りの状況を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で決められた場所に移動し、安否を確認する。</li> </ul>

### 3. 教職員が近くにいらないときの行動

	落下物・倒壊物から身を守る	周囲の様子を的確に把握する	安全な場所への避難
校舎内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部保護のため机の下、など「上から落ちてこない」「横から倒れない」場所に身を寄せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの状況を判断する。</li> <li>・放送等の指示を待つ。</li> <li>・避難経路を思い出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・揺れがおさまったら、教室・校庭等、安全な場所へ速やかに避難する。</li> </ul>
校舎外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎内に入らない。</li> <li>・校舎、体育館、倉庫、遊具等から離れる。</li> <li>・校庭等の広い場所の中央にしゃがむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送等の指示を待つ。</li> <li>・地割れ、倒壊物、落下物等がないか周りの状況を把握する。</li> <li>・校舎内には絶対に戻らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で決められた場所に移動する。</li> <li>・校外には絶対に出ない。</li> </ul>
遠足等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関利用時は、係員の指示に従う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送等の指示を待つ。</li> <li>・施設係員の指示に従う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力して、指示された安全な場所に避難し、待機する。</li> </ul>
宿泊行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就寝時は、布団等で頭部を保護する。(校舎内と同じ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送等の指示を待つ。</li> <li>・施設係員の指示に従う。</li> <li>・非常口の方向を思い出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力して、指示された安全な場所に避難し、待機する。</li> <li>・避難できない場合は、大きな声や音を出して知らせる。</li> </ul>
登下校時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カバンやランドセル等で頭部を守りながら、建物・側壁等から速やかに離れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電柱、電線、屋根瓦等の落下物等危険がないか状況を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上から落ちてこない」「横から倒れない」場所に身を寄せる。</li> <li>・公園等、広い安全な場所に避難する。</li> </ul>

※緊急地震速報が流れたら、「上から落ちてこない」「横から倒れない」場所に身を寄せる。

※休憩時等は、近くの教職員が指導を行う。

※平素から自分の力で適切に行動できるよう指導しておくことが大切である。

※落ち着いて、協力しながら行動できるよう指導しておくことが大切である。

※心を落ち着かせるための方法は、「優しく声をかける」「抱き上げる」「手を握る」など、一人一人の児童の状況が違うので、平素から把握しておくことが必要である。

※避難行動で指示は、短い言葉でわかりやすい合図を工夫する。

#### ★定期的な校舎の安全点検の実施

① 毎年実施される学校施設点検表による施設全体の点検を実施する際に、併せて、防災の観点から、「学校施設・設備の安全点検リスト」により、施設・設備の点検を実施し、改修等の必要があると判断される場合には、学校施設点検表及び詳細内容記入欄に具体的に記入し、教育委員会指導室に提出する。

② 学校防犯連絡会の際、校舎・設備の安全点検を実施し、危険箇所を把握するとともに、壁、柱、床の亀裂、天井の剝離状況についても変化の様子を点検・記録する。

#### ☆ 児童・生徒の保護者への引き渡し

① 非常時において児童の引き渡しに関して保護者への情報伝達が確実に行えるよう、板橋区学校メールで連絡する。(メールが使えない家庭には、個別に電話連絡する)

② 日本語学級の児童は、学校において直接保護者へ引き渡すことを原則とする。

# 【大地震発生時の緊急対応】

## 地震発生

警戒宣言発令

児童の引き取り・看護

### 《1次避難》

教室

廊下

特別教室

体育館

校庭

登下校時

- ・机の下にもぐり、身（頭）を隠し、安全を確保する。＊ガラスに注意
- ・放送をよく聞く。
- ・担任、専科教諭の指示に従う。
- ＊校庭に飛び出さない。

- ・校舎、窓から離れ、中央に集まり、身を寄せる。
- ・放送をよく聞く。
- ・教諭の指示に従う。

- ・塀、ガラスに気を付けて安全を確保し、避難する。
- ・家や学校の近くにいる場合は、近い方に避難する。

### 《2次避難（校庭）》

### 《3次避難》

- ・放送で指示を出し、落ち着かせる。
- ・避難経路の安全確認。

〈校庭〉

- ・人員確認、安全確認、児童のけが等の確認
- ・校舎内外安全点検
- ・第二次避難場所への避難考慮

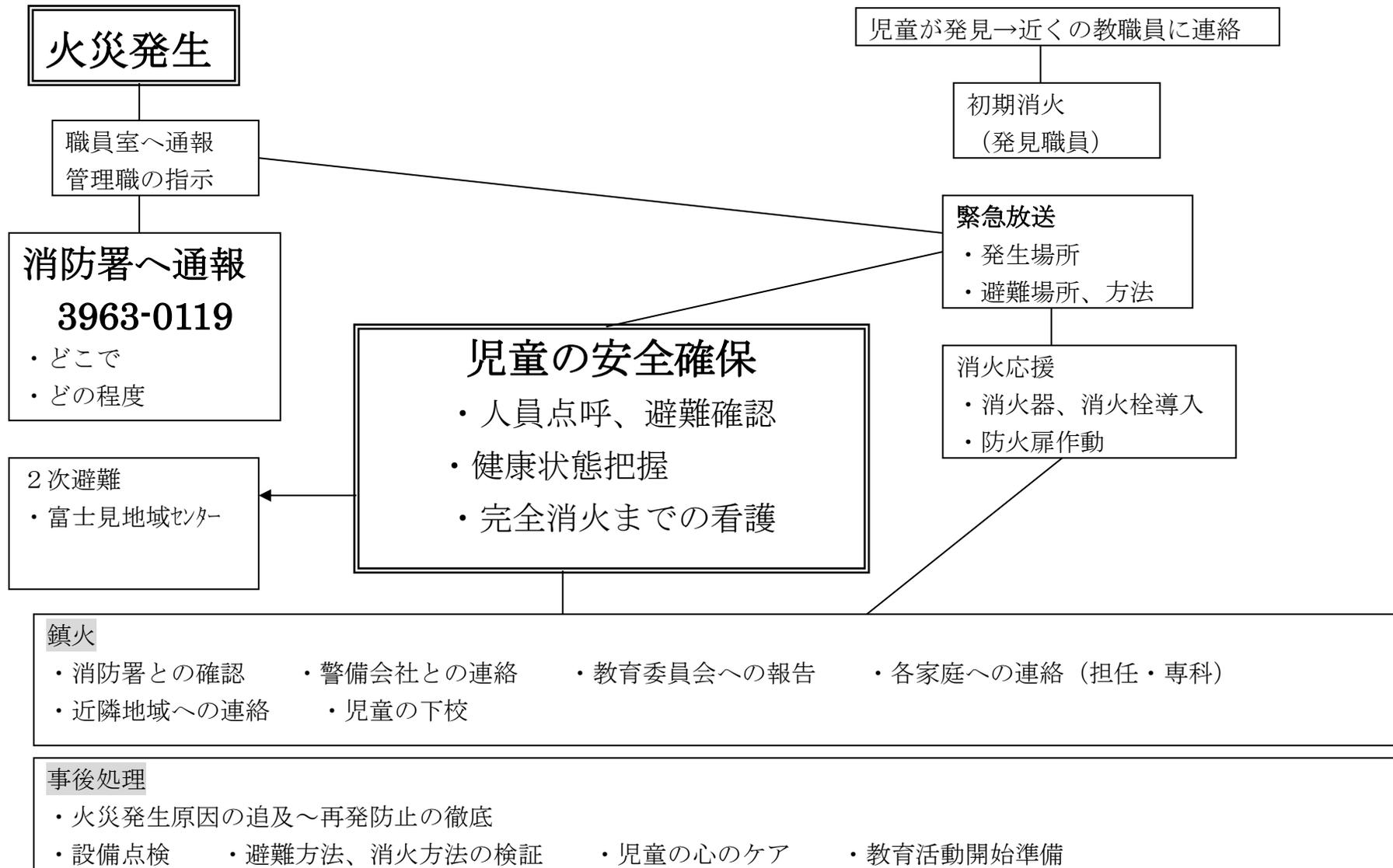
○富士見地域センター

- ・人員確認
- ・安全確認

その他の対応

- ・児童の安全確保
- ・家庭への引き渡し、送り届け（板橋区学校メール）
- ・非常災害避難所の設置（災害避難所本部設置・第一次開放・組織結成）

# 【火災発生時の緊急対応】



# 【台風等風水害発生時の緊急対応】

4月当初の保護者会で、災害発生時の家庭での対応について知らせておく。

家庭での対応

- ・安全を確保し、登校の見合わせ
- ・保護者の付き添い登校

災害発生前日

◎児童をとおり、家庭にプリントで対応を知らせる。

☆あいキッズの対応を確認する。

## ◎災害発生日

- ・暴風雨の状況により

〈緊急召集〉家庭への連絡等、板橋区学校メールで連絡する。

(基本) 児童の安全を確保し、引き渡しをする。完了するまで学校で預かる。

事後処理

- ・校内外の安全確認
- ・教職員、スクールガード、保護者による安全点検
- ・教育活動の開始準備

## 【サービス事故等発生時の緊急対応】

サービス事故発生

### ・ 教育委員会へ報告

- 事後処理対策委員会結成  
(主任会が当たる)
- ・ 児童の心のケア
- ・ 保護者説明
- ・ マスコミ対応 (副校長)

インフルエンザ等  
感染症 発生

### ・ 教育委員会等へ報告

- 学校医へ連絡、相談
- ・ 学級閉鎖等への対策と検討
- ・ 保護者への連絡・周知
- ・ 保健所への連絡
- ・ マスコミ対応 (副校長)

児童のDV被害等発生

### ・ 子ども家庭総合支援

- センター等へ報告・相談
- 特別支援校内委員会で対応策を検討
- ・ マスコミ対応 (副校長)

## 【緊急連絡先医療機関】

### ☆学校医・学校歯科医・学校薬剤師

富山整形外科医院 (内科校医 富山 哲先生)	<b>5 3 7 5 - 8 5 1 1</b> 0 9 0 - 3 2 1 4 - 9 6 1 4	中板橋 2 0 - 5 - 2 0 1 (木・日・祝・土曜午後休診)
岩淵診療所 (耳鼻科校医 長尾啓子先生)	<b>3 9 6 1 - 2 4 1 3</b>	本町 1 7 - 1 (火・木・日・祝休診)
熊谷眼科クリニック (眼科校医 熊谷謙次郎先生)	<b>3 5 7 9 - 1 1 1 3</b>	中板橋 1 1 - 1 1 (木・金・第1、3土・日休診)
武藤歯科医院 (歯科校医 武藤 城嗣先生)	<b>3 5 5 0 - 0 6 4 8</b>	高島平 1 - 8 0 - 1 4 4F (日・祝休診)
(薬剤師 四釜 久隆先生)	<b>6 9 1 2 - 4 9 5 5</b>	加賀 2 - 3 - 1 - 4 2 0

### ☆救急病院

富士見病院	<b>3 9 6 2 - 2 4 3 1</b>	大和町 1 4 - 1 6
常盤台外科病院	<b>3 9 6 0 - 7 2 1 1</b>	常盤台 2 - 2 5 - 2 0
日本大学付属板橋病院	<b>3 9 7 2 - 8 1 1 1</b>	大谷口上町 3 0 - 1
帝京大学病院	<b>3 9 6 4 - 1 2 1 1</b>	加賀 2 - 1 1 - 1
豊島病院	<b>3 9 6 1 - 3 2 8 1</b>	栄町 3 3 - 1
板橋中央病院	<b>3 9 7 5 - 1 1 8 1</b>	小豆沢 2 - 1 2 - 7
板橋医師会病院	<b>3 9 7 5 - 8 1 5 1</b>	高島平 3 - 1 2 - 6
高島平中央病院	<b>3 9 3 6 - 7 4 5 1</b>	高島平 1 - 6 9 - 8

☆子ども家庭総合支援センター **3 5 7 9 - 2 6 5 8**

☆北児童相談所 **3 9 1 3 - 5 4 2 1**

☆タクシー 日本交通 **5 7 5 5 - 2 1 5 1**

東京無線 **3 3 6 1 - 2 1 1 1**

# アレルギー発症時の校内体制

